

小学生デザイン 秘密基地完成

高 砂

高砂市内の小學生らのデザインを基にした二つの「秘密基地」の完成記念式典が16日、市町阿蘇院町の「鹿島・扇平自然公園」であった。式典に参加した子どもたちはペンキなどで塗装して仕上げ作業を行った。設置された二つの秘密基地は1年間の期間限定で、子どもを中心に誰でも利用できるようにする。

(市報高砂)

鹿島・扇平自然公園に二つ設置

同公園(54ヘクタール)内に広がる、市所有の草地(約1万7千平方メートル)を有効活用しようとして、2022年に地元住民による団体「高砂KIDS(キッズ)夢PARK(パーク)」が結成された。子どもたちに主体性や地域への愛着を育

んでもらうことを目的に草地の再整備案を地元小学生に募った。200案近くの応募があり、同団体のメンバーらが案を審査。今年6月、秘密基地として遊具二つを組み立てることが決定した。制作には原

子どもたちで仕上げ塗装 1年限定で使用

建築士会加古川支部が協力。採用された子どもたちのデザインを参考に図面を引き、現地で10月下旬から4日ばかりで建設した。

「グッドマイアム」として採用された米田西小3年の児玉唯羽さんの秘密基地は2階建てで、オーストラリアの巨大岩山ウルル(英語名エアースロック)をイメージした形状。複数の窓があり、はしごを上った先の2階部分の床は、一部がネットになっている。外側壁面に2階に上るためのボルダリングやネットが取り付けられ、遊び心が詰まった秘密基地となった。

完成式典終了後、子どもたちは早速、秘密基地の中を駆け回り歓声を上げていた。制作に携わった建築士会加古川支部の小西敏文支部長(右)は「ものすごく喜んでもらう姿を実際に見られて何より。力を入れて作った方がいいがある」と目を細めた。

遊び心満載、エアースロックをイメージ



エアースロックをイメージした秘密基地＝いずれも高砂市阿蘇院町

猫や熊の顔を描き、くつろぎスペースも



愛らしい動物がデザインされた秘密基地